



平成 30 年2月1日

白鳩保育園

保健衛生係

厳しい寒さの中でも、元気いっぱいの子ども達。でも、低温・低湿の冬は、風邪ウイルスが大好きな季節です。風邪を寄せ付けない丈夫な体づくり、環境づくりに気を配り、寒い冬を元気に乗り切りましょう。

2月3日は「節分」です🐱



節分に福豆を食べるという風習には、「福」を身体に取り入れることで一年の健康を願うという意味があります。

しかし!

楽しい行事の一方で、子どもが豆を気管支などに詰まらせる事故が、毎年起きています。

子どもが豆を口にしたら、何かに驚いたり、転んだり、泣き出したりして、息を吸った瞬間、豆が気管や気管支に入り込みます。

理由 ①豆の硬さや滑りやすさ

②歯が生えそろっておらず、噛む力が不十分で  
上手く噛み砕けない

③子どもは吐き出す力が弱く、豆が詰まったまま  
になってしまう

④予期せぬことなどで、食べているときに息を  
吸ってしまいがち

詰まらせたときの症状

◎最初、激しくむせる。

◎息苦しそうになり、弱々しい咳しかできず、泣き  
声もか細い状態になる。

◎喉や胸から「ゼーゼー」「ひゅーひゅー」という  
音が聞こえる。

### 気を付けてほしいこと

◆豆をまき終わった後は、徹底して拾いきることが重要です。

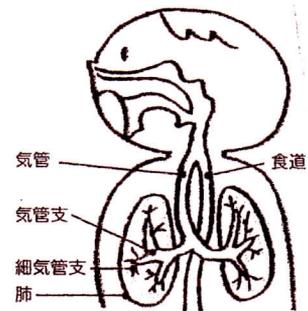
◆子どもが豆を口にしているのを見たら、そっと口から取り出してください。

◆食べているときに、横になる、オムツを替える、歩く、走る、飛び跳ねるなどの  
行為は避けてください。

◆3歳になるまでピーナツは食べさせないようにしてください。

※2月2日(金)に保育園で豆まきが行われますが、安全を考慮し、全年齢まいた豆は食べません。

**安全に、楽しく豆まきをして、福を呼び込みましょう☆**



まだまだインフルエンザの猛威が続いています。

また、ノロウイルス・ロタウイルスなど、お腹の風邪も流行しやすい時期です。

↳症状:突然の下痢(ロタの場合は白っぽい便)と嘔吐、発熱

子どもの下痢は、脱水を引き起こすなど重症化しやすいです。

一番の予防は、**うがい・手洗い**です!

